



設定

IP 設定、ホスト設定、およびネットワーク タイム プロトコル (NTP) 設定の表示と設定を行うには、設定オプションを使用します。

IP 設定

[IP 設定] オプションを使用すると、イーサネット接続の IP とポートの設定を表示および変更でき、後続ノードではパブリッシュ サーバの IP アドレスを設定できます。

イーサネットの設定

[IP 設定] ウィンドウでは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) がアクティブであるかどうかを示されます。また、ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスのほかに、関連するイーサネットの IP アドレスも表示されます。

すべてのイーサネット設定は Eth0 のみに適用されます。Eth1 に対する設定は一切できません。Eth0 の最大伝送ユニット (MTU) は、デフォルトで 1500 に設定されています。

IP 設定を表示または変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理] ウィンドウで、[設定] > [IP] > [イーサネット] を選択します。

[イーサネットの設定 (Ethernet Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 イーサネットの設定を変更するには、該当するフィールドに新しい値を入力します。[イーサネットの設定 (Ethernet Configuration)] ウィンドウの各フィールドの説明については、[表 4-1](#) を参照してください。



(注) DHCP を有効にすると、ポートとゲートウェイの設定は無効になり変更できなくなります。

ステップ 3 変更内容を保存するには、[保存] をクリックします。

表 4-1 イーサネットの設定のフィールドと説明

フィールド	説明
DHCP	DHCP が有効か無効かを示します。
IP アドレス (IP Address)	システムの IP アドレスを表示します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	IP サブネット マスクのアドレスを表示します。
デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)	ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスを表示します。

パブリッシャの設定



注意

Cisco Unified Presence は、パブリッシャ サーバの IP アドレスの変更をサポートしていません。パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更すると、Cisco Unified Presence が適切に機能しなくなることがあります。

後続ノードまたはサブスクリバ ノードでは、最初のノードまたはノードのパブリッシャ サーバの IP アドレスを表示または変更できます。

パブリッシャの IP 設定を表示または変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理] ウィンドウで、[設定] > [IP] > [パブリッシャ] を選択します。

[パブリッシャの設定 (Publisher Configuration)] ウィンドウが表示されます。



(注) パブリッシャの IP アドレスは、クラスタの後続ノードでのみ表示および変更が可能で、パブリッシャ自体ではできません。

ステップ 2 新しいパブリッシャサーバの IP アドレスを入力します。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

Cisco Unified Presence の後続ノードの IP アドレスの変更

**注意**

Cisco Unified Presence は、後続ノードの IP アドレスの変更をサポートしていません。IP アドレスを変更すると、Cisco Unified Presence が適切に機能しなくなることがあります。

後続ノードがオフラインのときに最初の Cisco Unified Presence ノードの IP アドレスを変更すると、後続ノードの Cisco Unified Presence の管理にログインできなくなる場合があることに注意してください。このような状況が発生した場合は、次の手順を実行します。

ステップ 1 次の URL を使用して、後続ノードのオペレーティング システムの管理に直接ログインします。

`http://server-name/cmplatform`

ここで *server-name* には後続ノードのホスト名または IP アドレスを指定します。

ステップ 2 管理者ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ステップ 3 [設定] > IP > [パブリッシャ] を選択します。

ステップ 4 パブリッシャ サーバの新しい IP アドレスを入力し、[保存] をクリックします。

ステップ 5 後続ノードを再起動します。

NTP サーバ

外部 NTP サーバが階層 9 以上 (1 ~ 9) であることを確認します。外部 NTP サーバを追加、削除、または変更するには、次の手順を実行します。



(注) 最初のノードまたはパブリッシャ サーバでは、NTP サーバの設定値のみを設定できます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理] ウィンドウで、[設定] > [NTP サーバ] を選択します。

[NTP サーバの一覧 (NTP Server List)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 NTP サーバの追加、削除、または変更ができます。

- NTP サーバを削除するには、削除するサーバの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。
- NTP サーバを追加するには、[新規追加] をクリックし、ホスト名または IP アドレスを入力して、[保存] をクリックします。
- NTP サーバを変更するには、IP アドレスをクリックし、ホスト名または IP アドレスを変更して、[保存] をクリックします。



(注) NTP サーバの変更が完了するまで、最大で 5 分かかることがあります。NTP サーバに何らかの変更を行った場合は、必ずウィンドウをリフレッシュし、正しいステータスを表示するようにしてください。

ステップ 3 [NTP サーバの一覧 (NTP Server List)] ウィンドウをリフレッシュして正しいステータスを表示するには、[設定] > [NTP サーバ] を選択します。



(注) NTP サーバを削除、変更、または追加したら、クラスタ内の他のすべてのノードを再起動し、変更を有効にする必要があります。

SMTP 設定

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] ウィンドウでは、SMTP ホスト名を表示または設定でき、SMTP ホストがアクティブかどうかを示されます。



ヒント

証明書有効期限モニタなどでシステムからメール通知が送信されるようにする場合は、SMTP ホストを設定する必要があります。

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] にアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理] ウィンドウで、[設定] > [SMTP] を選択します。

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 SMTP のホスト名または IP アドレスを入力または変更します。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

時間の設定

時間を手動で設定するには、次の手順を実行します。



(注)

サーバの時間を手動で設定する前に、設定済みの NTP サーバを削除する必要があります。詳細については、「[NTP サーバ](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理] ウィンドウで、[設定] > [時間] を選択します。

ステップ 2 システムの日時を入力します。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

